

授業科目	審美歯学臨床応用学（歯科保存修復学）		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	生体材料学分野
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	歯科保存修復学分野研究室	担当者電話番号	086-235-6670（吉山昌宏）
担当教員	【研究科】教授：吉山昌宏、准教授：西谷佳浩、 【病院】講師：山路公造、助教：堀川元		
一般目標	審美歯科専門医の習得を目指す歯科医師として必要不可欠な審美歯科の理論、診断および術式を習得する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 審美歯科学の理論を説明できる。</li> <li>2. 審美修復の種類と内容を説明できる。</li> <li>3. 漂白を確実にできる。</li> <li>4. ラミネートベニア修復を確実にできる。</li> <li>5. セラミック修復を確実にできる。</li> </ol>		
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定したテキスト、参考書をもとに審美歯科学の全体をセミナー形式で講義するとともに、最新の学術論文を抄録する事により最新の審美歯科学の考え方やテクニックを熟知する。</li> <li>2. 実習形式で高度シュミレーションシステムを用いて実際のラミネートベニア窩洞やセラミックインレー&amp;クラウン窩洞を人工歯に形成し、最新の接着性レジジンシステムを適用し審美合着テクニックを習得する。また各種接着システムの接着力をマイクロテンサイル法で評価する。</li> </ol> <p>配当された患者の診療を指導医の管理下で行い、高度な審美歯科修復に必要な臨床技能、診断力、患者のマネジメント能力を養う。</p>		
テキスト・参考書等	う蝕治療のミニマルインターベンション（クインテッセンス出版，2004） 現代の治療方針 クインテッセンス・イヤーズブック2007（クインテッセンス出版，2007）		
成績評価基準 成績評価方法	セミナーでのレポート30%、実習でのレポート30%、診療ケースレポート40%として評価する。		
研究活動との 関連	実習レポートを発展させた形で審美歯科学会での発表、論文執筆も行う。		

基礎実習	抜去歯を用いた基礎実習を1年次に1度行う。
臨床実習	臨床実習は最初の5症例まではアシスタント、その後はクリニカルクラークシップにより全てのステップを10症例以上実習する。
症例検討会	症例検討会は、毎月第2水曜日に行う。
講義日程	<p>講義は、毎月第3水曜日、歯学部棟9階図書室および8階歯科保存修復学分野医局にて午後6時より行う。</p> <p>変更になる場合には、登録大学院生に事前に通知する。</p> <p>また以下の特別講演を受講する。 2009/11/18;ホワイトニングのポイント 寺下 正道先生</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第20回日本歯科審美学会・学術大会</p> <p>日時：平成21年10月11日（日）・12日（月）</p> <p>会場：</p>